

登録コード	E2132900	開講年度	2026				
授業科目	地誌学特論					担当教員	市川 正夫
英文授業名	Regional Geography					副担当	廣内 大助
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・3時限	対象学生	
講義室	教育M301 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	・授業を通して地理的な見方・考え方を身に着ける	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	・毎回授業に関する資料等を提示することで復習やスキルアップに活用することができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	長野県内各地域や国内の特色ある地域を地理学的分析を通して、人文地理学の意義とその方法論を学ぶ。担当者の実践を踏まえた内容で実施する。 フィールド・ワークやワークショップ、問題解決学習、パワポによる発表、討論会等いろいろなバリエーションのある授業の実施。 担当教員は小中高校、短期大学、四年制大学、行政等における実務経験がありそれらを加味して授業を行う。						
(5)授業計画	まず、長野県の自然・地誌について学ぶ。これを基礎として、長野県だけでなく、国内外の観光・工業・商業・まちづくり・むらおこしなどの事例をあげる。そしてこれから どう地域ではどのように生活をして生き残り、発展させるかを模索し、提案できる力を養う。 第1回：年間の趣旨説明し、全体像について解説する。 長野県の概要と問題点・課題について提示する。 長野県の自然環境 地形編 フォッサ・マグナと日本アルプス、火山と高原、盆地と丘陵、地形による自然災害 第2回：長野県の自然環境 気候編 長野県の気候特色 寡雨地域 多雪地域 雪形 風 台風 第3回：信州ローム層 浅間山火山 火山と人々の生活・文化との関わり 第4回：長野県の産業と生活 農牧業 南佐久地方の農業 狭い農耕地 果樹王国 日本一の水稲反収収穫量 高冷地農業 日本一の栽培きのこ 長野県の産業と生活 林業 水産業 少ない素材生産量 小規模経営 現状と課題 製糸業と養鯉 佐久鯉 ニジマス養殖 第5回：長野県の産業と生活 資源とエネルギー 工業 製糸業 歩み 揚水式発電 新しいエネルギー 精密・電気機械工業 地場産業 第6回：県歌「信濃の国」長野県の生活・文化 歌ができた経過 内容分析 山地山脈 河川 湖沼 人物 鉄道 長野県の産業と生活 村落と都市 民家形態 村落形態 都市 長野県の産業と生活 生活・文化 食文化 祭りと伝統芸能 観光 方言・民俗 第7回：地域から見た長野県(1)北信 県内最大の人口 日本一のえのきたけと巨峰ぶどう 観光と地域活性化 地域から見た長野県(2)東信 日本有数の寡雨地域 日本一の高原野菜産地 新興ハイテク工業 上田と佐久の都市機能 第8回：地域から見た長野県(3)中信 構造線と北アルプス 穀倉地帯 電機・食品工業 山岳観光 地域から見た長野県(4)南信 諏訪盆地と伊那盆地 内陸高冷地と東海型気候 山麓農業と果樹栽培 製糸業からの転換 民俗芸能 第9回：日本の中の長野県(1) 長野県の位置と市町村合併 長野県の人口 日本の中の長野県(2) 交通・通信 日本の中の長野県(3) 環境・都市問題 日本の中の長野県(4) 地域開発 日本の中の長野県(5) 長野県の国際化						

(5)授業計画	第10回：長野県の生活と文化(1)善光寺を地理・歴史で分析 第11回：長野県の生活と文化(2)善光寺のフィールドワーク 第12回：長野県の生活と文化(3)松代・須坂・小布施 第13回：長野県の生活と文化(4)小布施 第14回：海外の生活と文化 フランス等のまちづくり 第15回：レポート試験、授業アンケート ※教育実習による欠席分の補講は、課題の提出・添削等に対応する。
(6)成績評価の方法	・試験50%、発言・発表30%、毎回のレポート20% ・自分の生れた場所や生活しているところの事象を地理的に分析して発表する。 ・毎回授業に関する感想や達成したことをレポートにして提出する。
(7)成績評価の基準	授業のねらいで示された思考力・開拓力・受容力等が達成されたかどうかで評価をする。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 『卓越している』50%以上/『かなり上にある』40%/『やや上にある』10%/『普通』、『やや下にある』、『下にある』
(8)事前事後学習の内容	授業内容や授業課題についての復習が必要となる。また各単元の事前学習についても授業時に指示に従いながら教科書や参考図書から行う。授業の内容がどのように活かせるか、また検証するため現地見学を行う。 この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って60時間以上の時間外学習が必要となる。
(9)履修上の注意	『令和版 やさしい長野県の教科書 地理』を読み予習をする。
(10)質問、相談への対応及び連絡先	いつでもメールで問い合わせください yanchan7927@gmail.com
【教科書】	『令和版 やさしい長野県の教科書地理』しなのき書房
【参考文献】	『ふしぎ発見 長野県の地理』しなのき書房、『改訂版 信州学 長野と松本のなぜ』信教出版、『改訂版 日本の屋根 長野県の鉱山と鉱石』信毎書籍